

受験や就活、多くの留学生が次のステージに向かって
頑張っていることと思います。
それを支える先生方も結果に一喜一憂。
いつの時代も楽なものはありませんね。

◆ 文化庁長官表彰式に 深堀和子会長が出席！

年頭にふさわしい大変喜ばしいニュースで今年の「サイゼンセン」はスタートを切ることができます。深堀和子会長が、文化庁長官表彰を受賞したことは前号でお伝えしましたが、12月17日にその表彰式が京都のブライトンホテルにて開催され、我らが深堀会長が都倉俊一文化庁長官から表彰を受けるその様子が事務局に届きました。



深堀和子会長

都倉俊一文化庁長官

深堀泰弘氏

受賞に際し、深堀会長から会員の皆様へのメッセージが届きましたので、ぜひお読みください。

会員の皆様、かなりの留学生数が学校に戻り、学生の元気な声と教職員の活気が感じられるようになり喜ばしいです。40万人留学生受け入れが発表され、日本語教育機関の文科大臣認定により今後の実際的運用にどれほどの影響を及ぼすのか注視していきたいと思えます。

さて、昨年12月17日の午後2時から京都のブライトンホテルにて文化庁長官表彰式があり、方向音痴の私はナビゲーターの次男と共に会場に向かいました。全専日協を代表して長官表彰を私が受賞したのかなと思えます。会場では増田様がチャーミングな笑顔で出迎えて下さり、私は安心して席につくことができました。同時に創立間もない協会活動を感慨深く思い出していました。まだ専門学校日本語科が数校しかなかった昭和62年に文化外国語専門学校の熱血漢の保崎優先生にお声をかけていただき、神田外語学院の佐藤武揚先生、関西外語専門学校の早原瑛先生、東京外語専門学校の先代武田先生と共に、日本語教育の質の向上と専門学校の日本語科の使命を模索して、諸外国での日本語教育の現状と課題を調査・研究をスタートした事がよみがえりました。訪問したのは日本大使館、日本文化センター、大学、日本語教育機関、高校・中学等100施設以上にのぼります。私はどれほど多くの学びをこの優秀な指導者であり、エネルギッシュな先生方や海外の教員や視察から得られたか分かりません。発足時のメンバーで残っているのは私だけとなり悲しく、寂しい限りです。最後に託された彼らの思いを私も誠実に応えていかねばなりません。

日本語教育関係者が多く表彰されましたのでお写真をご覧ください。日本語関係者への表彰は昨年からは始まったようです。政府は日本語教育の重要性を日本国の対応すべき問題との認識だと感じました。



日本語教育の分野で受賞された先生方との一枚

(真嶋潤子先生、大日向和知夫先生、戸田佐和先生、佃吉一先生、深堀和子会長、金田智子先生、浜田麻里先生)



表彰状を手にとっての一枚

深堀会長のメッセージを読み、本当の多くの先輩方のご尽力のおかげで今の私たちが
あるということを改めて実感する機会ともなりました。先輩方に感謝しつつ、受賞の喜
びを深堀会長と分かち合いたいと思います。

◆ 第 37 回日本語弁論大会

文部科学大臣賞、今年も無事に認可

2月7日に開催される第37回の日本語弁論大会の開催にあたり、今年も文部科学大臣賞を申請しておりましたが、先日無事に認可が下りましたことをご報告いたします。

今年も充実した大会が開催できるよう、古屋和雄 実行委員長（文化外国語専門学校）のもと、準備を進めてまいります。



<第37回 全国専門学校 日本語学習外国人留学生 日本語弁論大会>

日時 2025年2月7日（金）13:00～16:00

場所 文化学園 文化外国語専門学校 D70 教室

<https://www.bunka-bi.ac.jp/access/>

【オンラインで配信予定】

大会は自由に見学することができます。出場校の皆様はもちろん、それ以外の方々の見学も大歓迎です。会場の熱気を肌でお感じください。また、学生たちと共に教室で大会の様子を見てみたいという会員さんも例年いらっしゃいます。今年も、当日、オンラインで配信するべく準備を進めてまいります。

2025年1月17日
全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当